



リエゾンパートナーズ 秋元二郎社長

居住系分野の淘汰・

再編の流れ継続

昨昨年10月、注目の新制度「サービス付き高齢者向け住宅」がスタートし、従来カバーされなかったボリウムゾーンへの供給がどこまで進むのか注目されます。そのためにも、自治体のガイドラインが使い勝手の悪いものならぬよう期待したいところです。

事業者を取り巻く環境は入居一時金のあり方が見直されるなど大きく変化して

おり、居住系事業分野は今後も引き続き淘汰・再編の流れが継続することが予想されます。

また、破綻あるいは経営不振にある施設の再生やM&Aのニーズも相応に見込まれ、当社はこれらニーズに対して的確なソリューションを提供して参ります。

2012年1月25日 高齢者住宅新聞